

投資家の皆様へ

2010年5月7日

BNY メロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド(愛称 ブラジルの奇跡)
～ブラジル株式市場およびブラジル・レアルの状況について～

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

首題ファンドの状況について、基準価額に影響を与えるブラジル株式市場およびブラジル・レアルの状況について、以下ご報告申し上げます。

【ブラジル株式市場およびブラジル・レアルの状況について】

ブラジル株式市場は、6日時点の総合指数であるボベスパ指数ベースで63,414ポイントと前回急落した2月初以来、3ヶ月ぶりに64,000ポイントを割り込む水準まで下落、5月の月初来騰落率も-6.1%(現地通貨ベース)となりました。

ブラジル株式は、2009年にボベスパ指数ベースで80%を上回る上昇率(現地通貨ベース)を示しました。今年に入り、利益確定の動きから一時調整する局面もある一方、引き続き内需を中心とした力強い景気回復や中国の景気拡大に伴う資源への需要増から、内需関連銘柄や輸出関連銘柄の株価を中心に上昇する展開ともなりましたが、5月2日に中国が経済成長抑制のため預金準備率の引き上げを決定したことで同国向けの輸出関連銘柄を中心に下落、さらにギリシアに端を発した金融危機が欧州全域に広がり世界的な景気回復基調にマイナスの影響を及ぼすとの懸念が拡大したことから、リスク性資産である原油等の商品市況が急落し、ブラジル株式も資源関連銘柄を中心に売られ大幅調整となりました。

一方、ブラジル・レアルはブラジル経済が世界の中でも安定的な改善を示す過程において、同国株式、債券に対する対外証券投資(資金流入)が継続し、安定的な水準で推移してきましたが、今回の中国人民銀行による預金準備率引き上げ、さらに欧州債務危機の懸念拡大に伴い、為替市場ではリスク回避通貨とみなされる円が選好される一方、ブラジル・レアルなど相対的に高利回り資産国の通貨が下落しました。また、足元の資源価格の下落もブラジル・レアルが調整する要因となっています。

ブラジル・レアルは5月6日時点で1レアル=52.3円、その後も一時46.8円(前日比-10.5%)まで急落するなど、直近高値である5月4日の1レアル=54.8円から大きく調整しております。対米ドルでも4月以降、1ドル=1.7レアル水準で安定的に推移してきましたが、直近では1.9レアル台目前まで急速に下落しております。

【当ファンドの状況と今後の見通しについて】

これらの影響を受け、当ファンドの基準価額は5月6日時点で9,164円となり、前日比で6.1%下落となっております。

ブラジル株式については、欧州発の信用危機が波及し、リスク性資産である世界の株式相場や資源価格が下落する中、短期的には不安定な市場の動向が続く可能性があります。しかし長期的観点では、内需を中心に引き続き

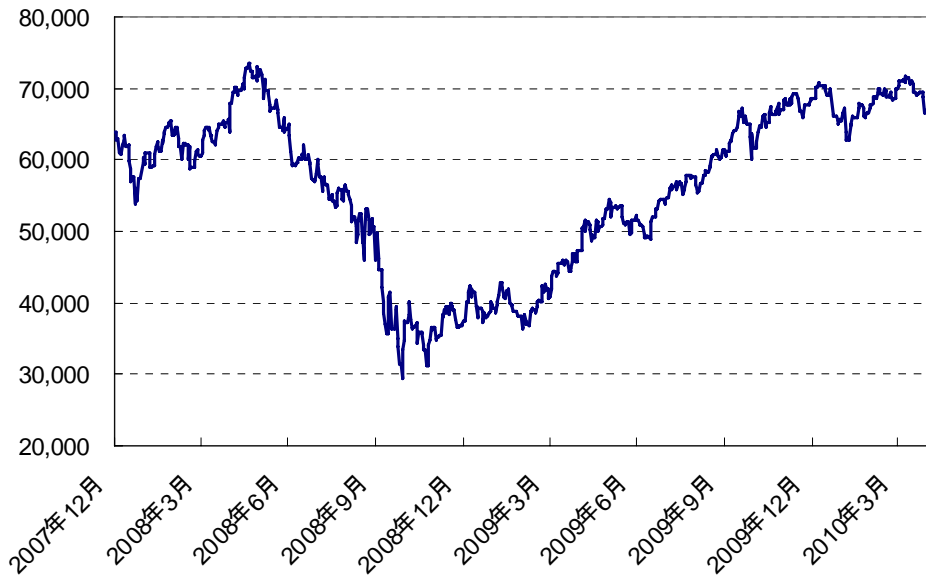


世界の中でも相対的に堅調な経済成長が見込まれること、経済加速化計画(PAC)が国内のインフラ整備を促進し、またサッカーW杯や五輪によりインフラ整備の加速化が期待できることなどから、主に消費関連銘柄やインフラ関連銘柄などが中心となり、中長期的に魅力的な投資対象であると思われます。

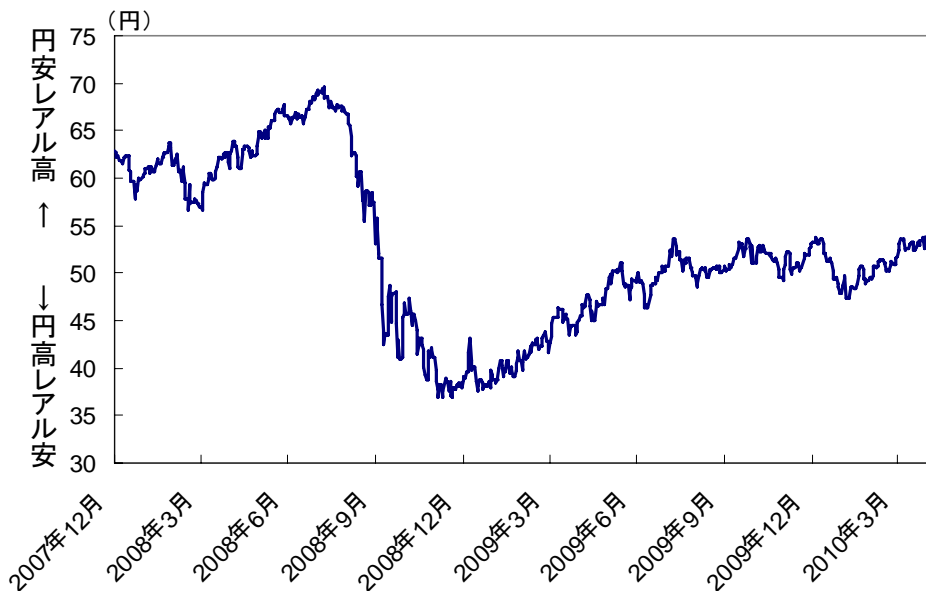
通貨についても、短期的には資源価格の動向などに左右される局面も考えられますが、ブラジルは相対的に高い経済成長が見込める上、金利、株式のバリュエーション面から見ても引き続き魅力的な投資国であることから、対外証券投資および直接海外投資の流入が継続し、ブラジル・リアルを下支えするものと予想します。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon Asset Management Japan 株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

ボベスパ指数の推移
(2007年12月31日～2010年5月7日)



ブラジルレアルの推移(対円)
(2007年12月31日～2010年5月7日)



出所:ブルムバーグのデータを基に BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

- 当ファンドは、主としてブラジル企業の株式に投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動きにより、ファンドの基準価額は大きく変動することがあり、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「為替変動リスク」や「カントリー・リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<お客様にご負担いただく費用>

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用
 - お申込手数料:
3.15%(税抜 3.0%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。
 - ご換金手数料:ありません。
 - 信託財産留保額:ありません。
- 間接的にご負担いただく費用
 - 信託報酬
当ファンドの純資産総額に年 1.9635%(税抜 1.87%)の率を乗じて得た額とします。
 - その他の費用
上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
(注)ブラジル国内株式への投資に伴う為替取引については、非居住者に対して金融取引税が課せられます。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、取扱いが変更されることがあります。
(その他の費用については、資産規模および運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

- 設定・運用は

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会